

令和六年九月二十八日 懇親吟行会

特選句（順不同・敬称略）

藤本美和子先生 特選

赤福は本店で食ふ秋の昼 上野山巳喜彦

みはるかす海も神域鳥渡る 西尾 敬一

輪注連繩わしめなわのさすれば匂ふ今年藁 中川キヌヨ

坂口 緑志先生 特選

倭姫巡行の地や荻の声 森下 充子

御塩焼く土器を干したる秋日影 西岡せつ子

石井いさお先生 特選

採鹹の搔き跡しるき風は秋 三ツ矢龍美

忌火もて色なき風に御塩焼く 中山 暁代

福山 良子先生 特選

採鹹の搔き跡しるき風は秋 三ツ矢龍美

一枚の御塩田囲む草は穂に 藤本美和子

佐藤 茂先生 特選

立石に小昼の潮目律の風 河崎 恵子

小鳥来よ賓日館の唐門へ 長谷田公子

三ツ矢龍美先生 特選

御塩田砂の重たき秋湿

梅枝あゆみ

みはるかす海も神域鳥渡る

西尾 敬一

樋口 精一先生 特選

岩繫ぐ縄の太さや鷹渡る

前田 照子

夫婦岩形どる駅舎燕去る

田坂 成子

梅枝あゆみ先生 特選

みはるかす海も神域鳥渡る

西尾 敬一

秋霞時間の止まる沖の船

伊藤 孝子

古川 和子先生 特選

高西風や漁師沖向き手を合はす

山中 綾

秋つばめ仕舞屋多き浜参道

津矢田豊子

村田なよみ先生 特選

秋暑なほ水琴窟の音ぶれて

平野 淑子

木の実降る網代につけし箒の目

中川キヌヨ

坂本 剛子先生 特選

おめでたう秋の良き日の綿帽子

野村 郁

塩作り海の力と語る汗

水谷 洋子

高点句

十点句

みはるかす海も神域鳥渡る

西尾 敬一

新涼や海が齋庭ゆにわの興玉社

石井いさお

九点句

男岩を女岩めほどよく離れ秋の潮

森本 操

八点句

採鹹の搔き跡しるき風は秋

三ツ矢龍美

七点句

けふ秋の箒目美しき御塩殿

福田 容子

六点句

夫婦岩形どる駅舎燕去る

田坂 成子

水平線を斜めななめに松手入

福田 容子

潮騒は地球の鼓動新松子

田坂 成子

五点句

女岩には小さき白波雁渡し

林 里美

猫じやらし遊ばせてゐる渚かな

岡田 幸子

秋の波寄するも引くも平らなり 梅枝あゆみ

※高点句賞は一人一賞のため二句目は辞退して頂きました。